

2022年9月の
国内向け／輸出向け出荷の動向
図表集

2022年11月 7日

経済解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html>

2022年9月の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

月次	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数 前月比	95.2 -2.4%	107.4 4.4%	91.4 -4.1%
指数水準	2022.7 94.8以来 ①2020.5 75.9 ②2020.6 81.1 ③2020.4 84.1	2022.7 108.8以来 I 2018.6 109.8 II 2018.4 109.0 III 2017.12, 2018.8 108.9	2022.7 90.8以来 ①2020.5 78.1 ②2020.6 82.9 ③2021.9 83.4
前月比の動き	4か月ぶり- (2022.5以来)	2か月ぶり+ (2022.7以来)	4か月ぶり- (2022.5以来)
前月比幅	2022.5 -4.1%以来 ①2020.4 -10.3% ②2020.5 -9.8% ③2021.9 -7.2%	2022.6 7.3%以来 I 2020.6 8.0% II 2022.6 7.3% III 2014.2 7.2%	2022.5 -4.6%以来 ①2020.4 -10.1% ②2020.5 -8.9% ③2021.9 -8.4%

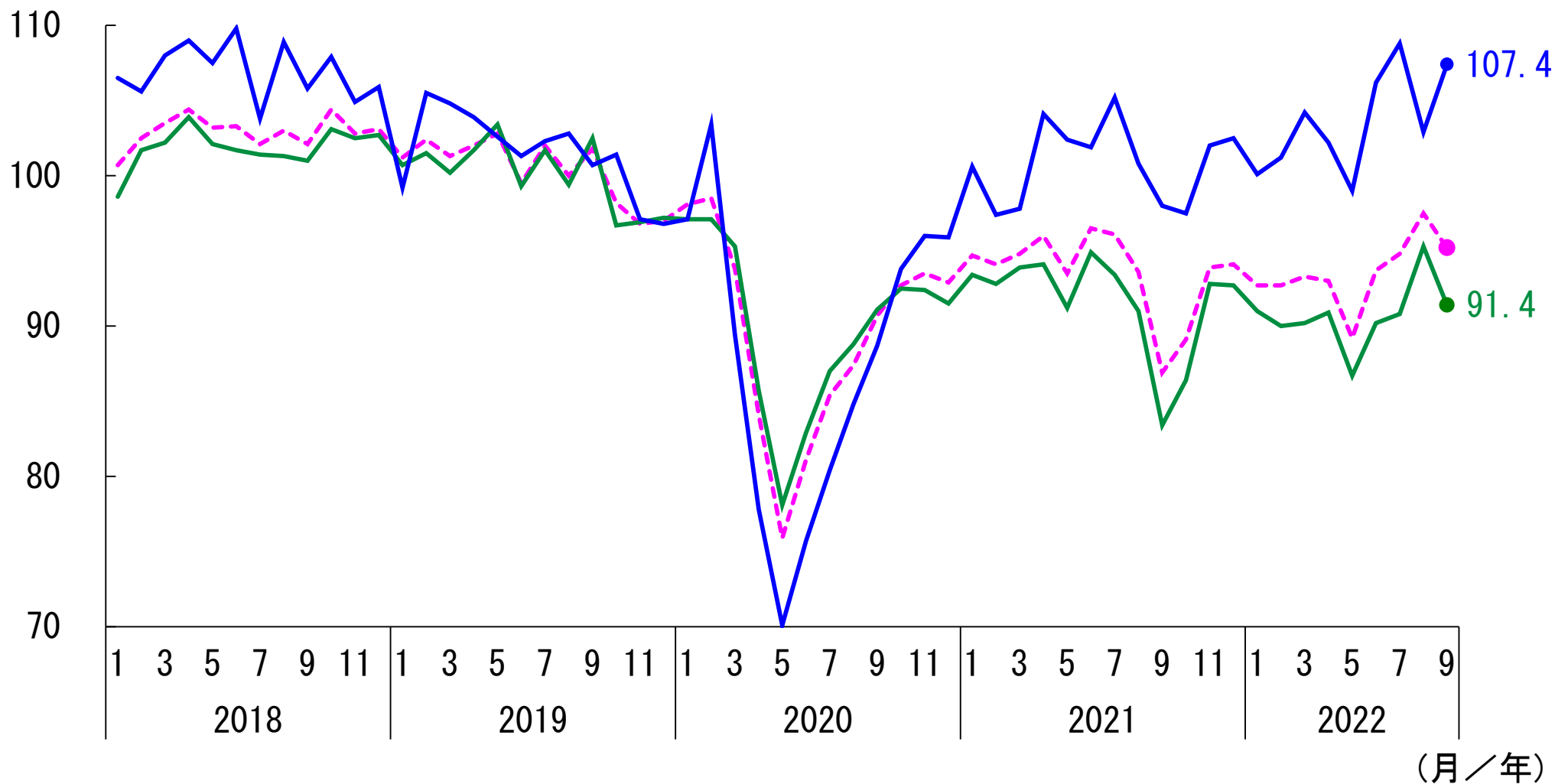
1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2022年9月の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは91.4(前月比-4.1%)と4か月ぶりの低下、輸出向けは107.4(同4.4%)と2か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

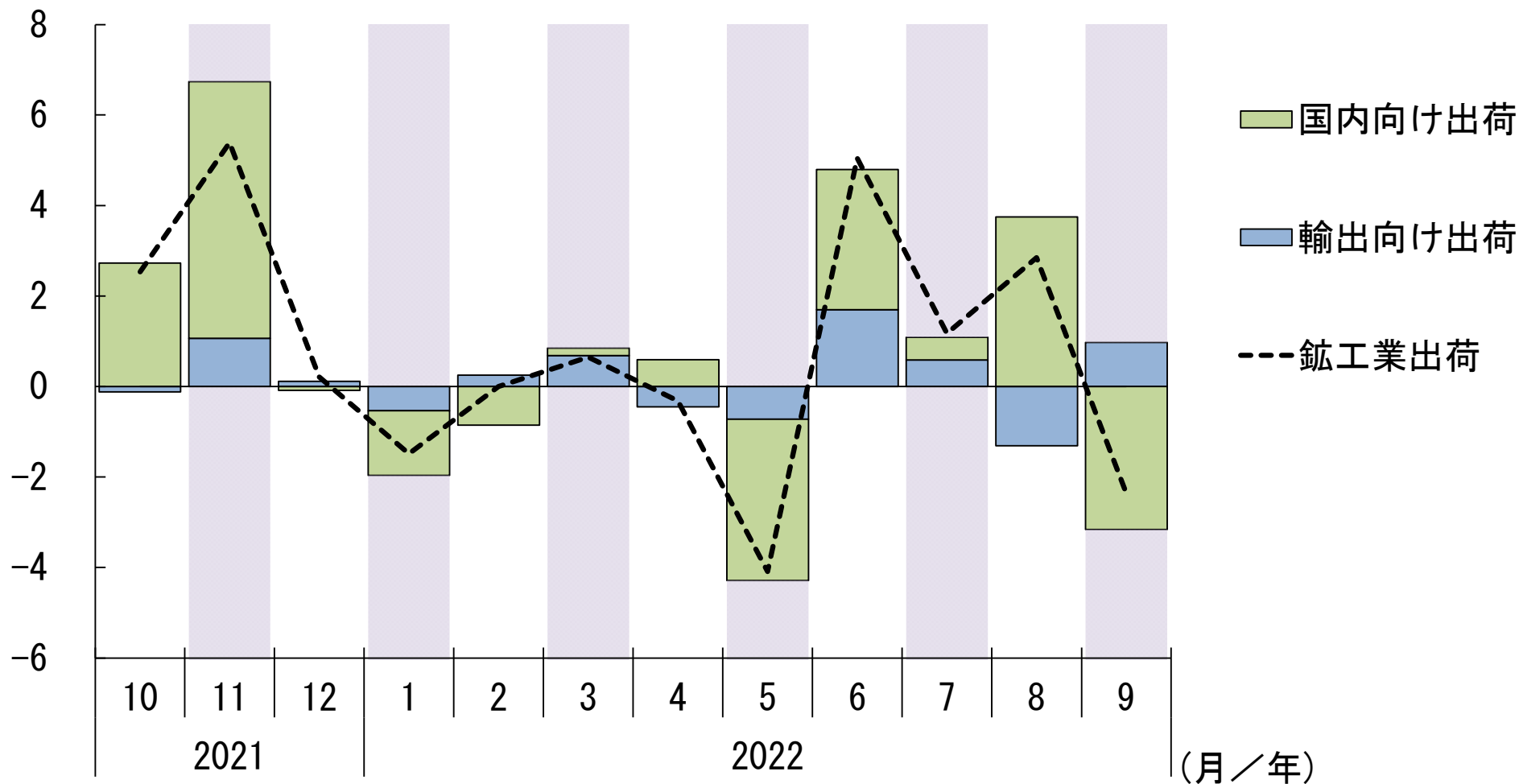
--- 鋳工業出荷 — 国内向け — 輸出向け



鉍工業出荷前月比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

・2022年9月の鉍工業出荷は輸出向けは上昇したものの、国内向けは低下したため、前月比-2.4%と低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



主要業種、財の出荷前月比 国内／輸出向け出荷の影響度合い

業種別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉄鋼・非鉄金属工業	2.8	2.61	0.20
生産用機械工業	-0.8	-3.27	3.99
汎用・業務用機械工業	-3.4	-1.92	-1.25
電気・情報通信機械工業	0.4	0.17	0.50
輸送機械工業	-2.9	-3.83	0.52
化学工業(除. 医薬品)	-3.9	-1.43	-2.32

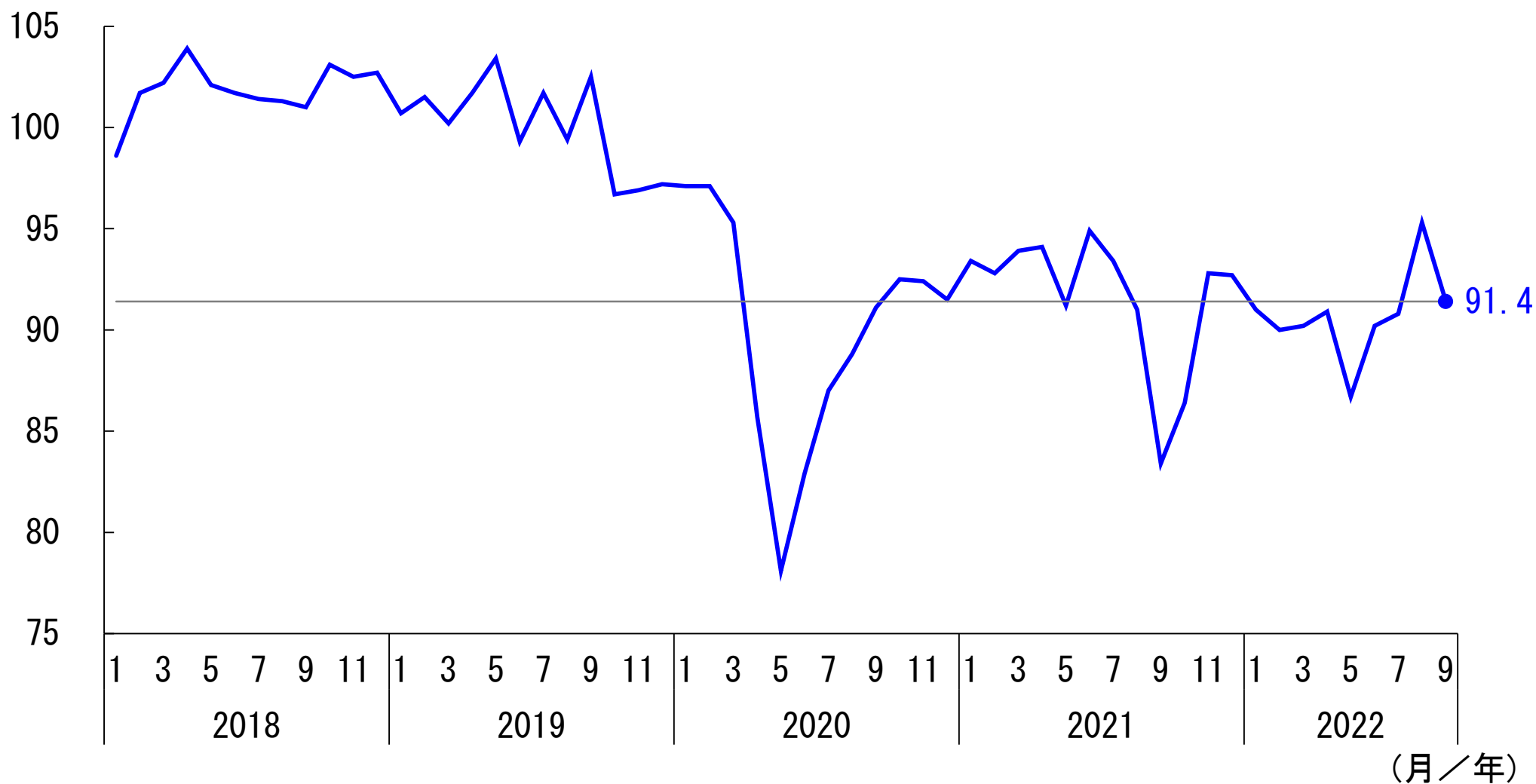
財別分類	出荷前月比 (%)	国内寄与度 (%ポイント)	輸出寄与度 (%ポイント)
鉱工業用生産財	-1.2	-2.38	0.59
資本財(除. 輸送機械)	-3.6	-3.24	2.50
建設財	-3.8	-3.26	-0.34
耐久消費財	-0.5	-3.25	0.75
非耐久消費財	-2.0	-0.98	-0.54

国内向け出荷指数の動向

・ 2022年9月の国内向け出荷指数は91.4(前月比-4.1%)と4か月ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

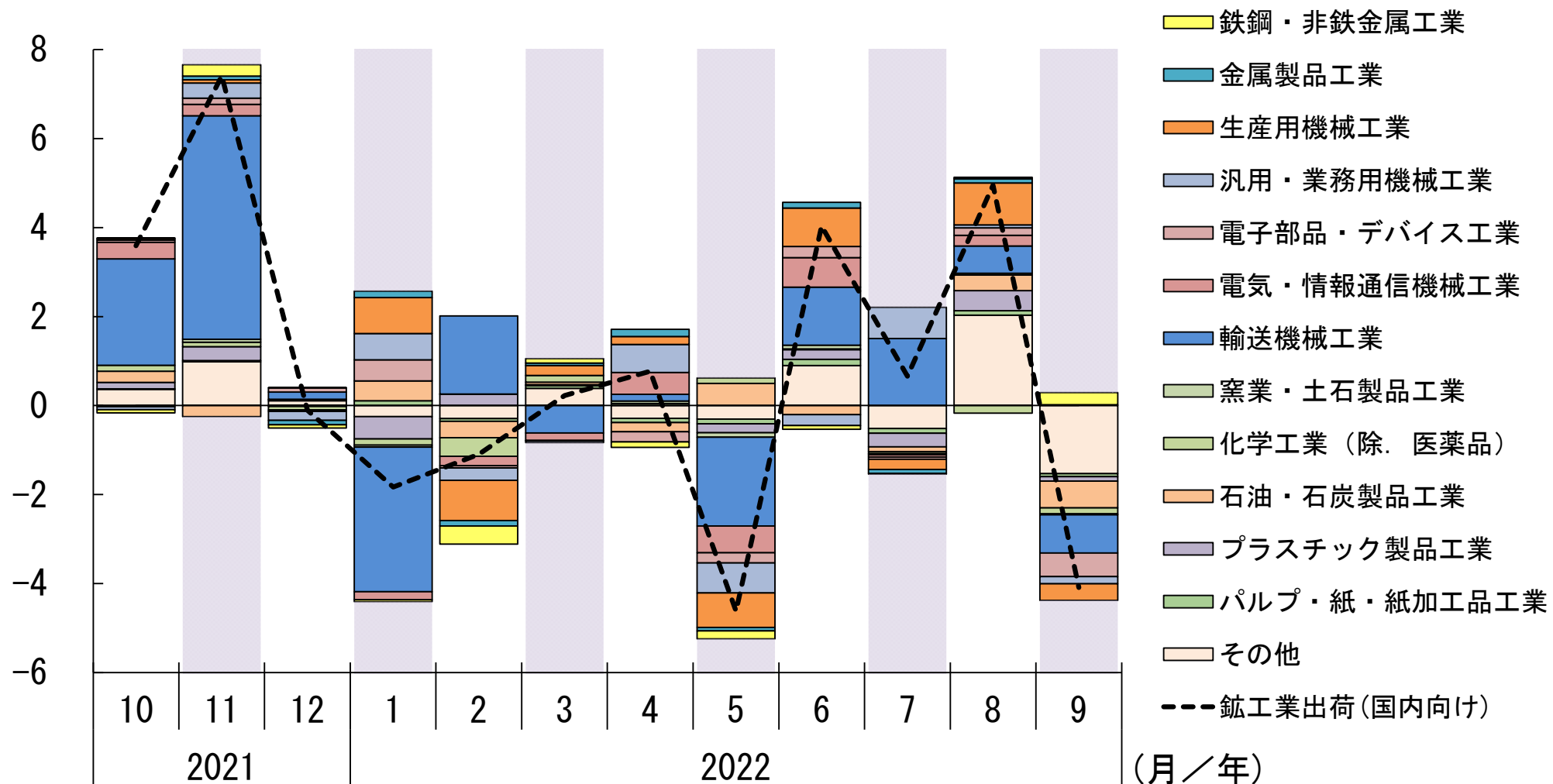
—国内向け出荷指数



国内向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・2022年9月の国内向け出荷を主要業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業などが上昇したものの、輸送機械工業などが低下。

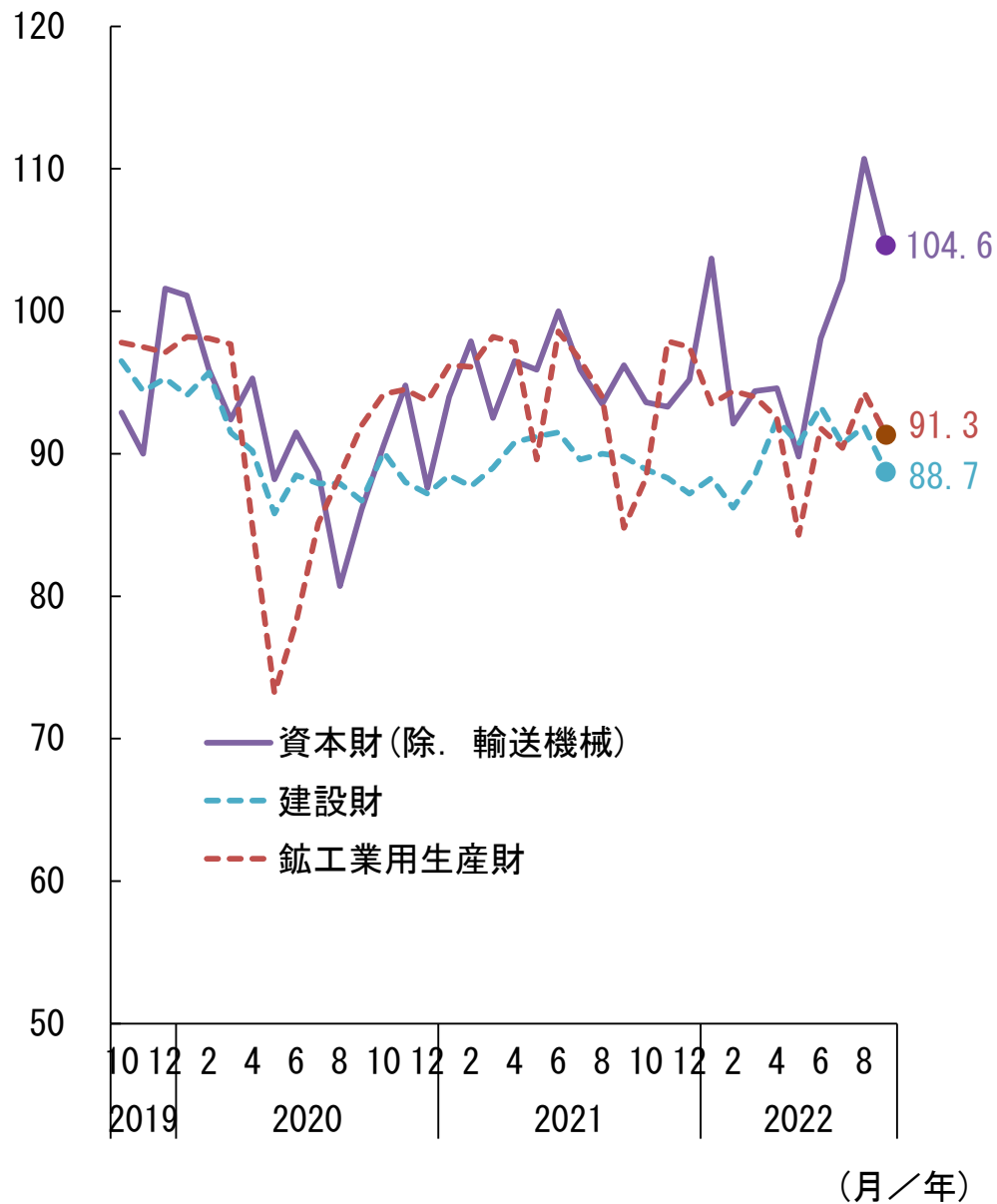
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



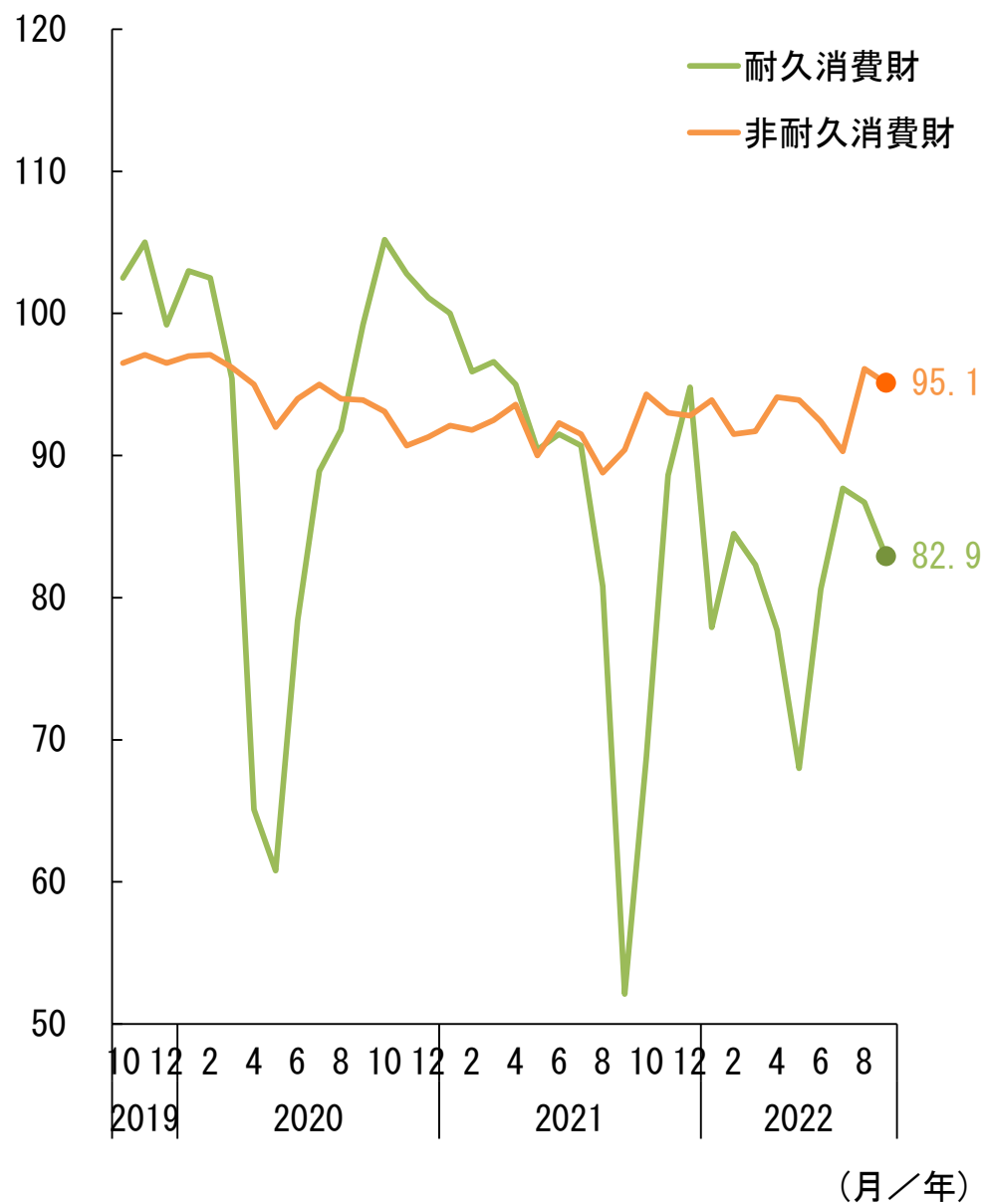
(注) その他とは化学工業のうち、医薬品や食料品・たばこ工業等、上記以外の業種が含まれる

国内向け財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



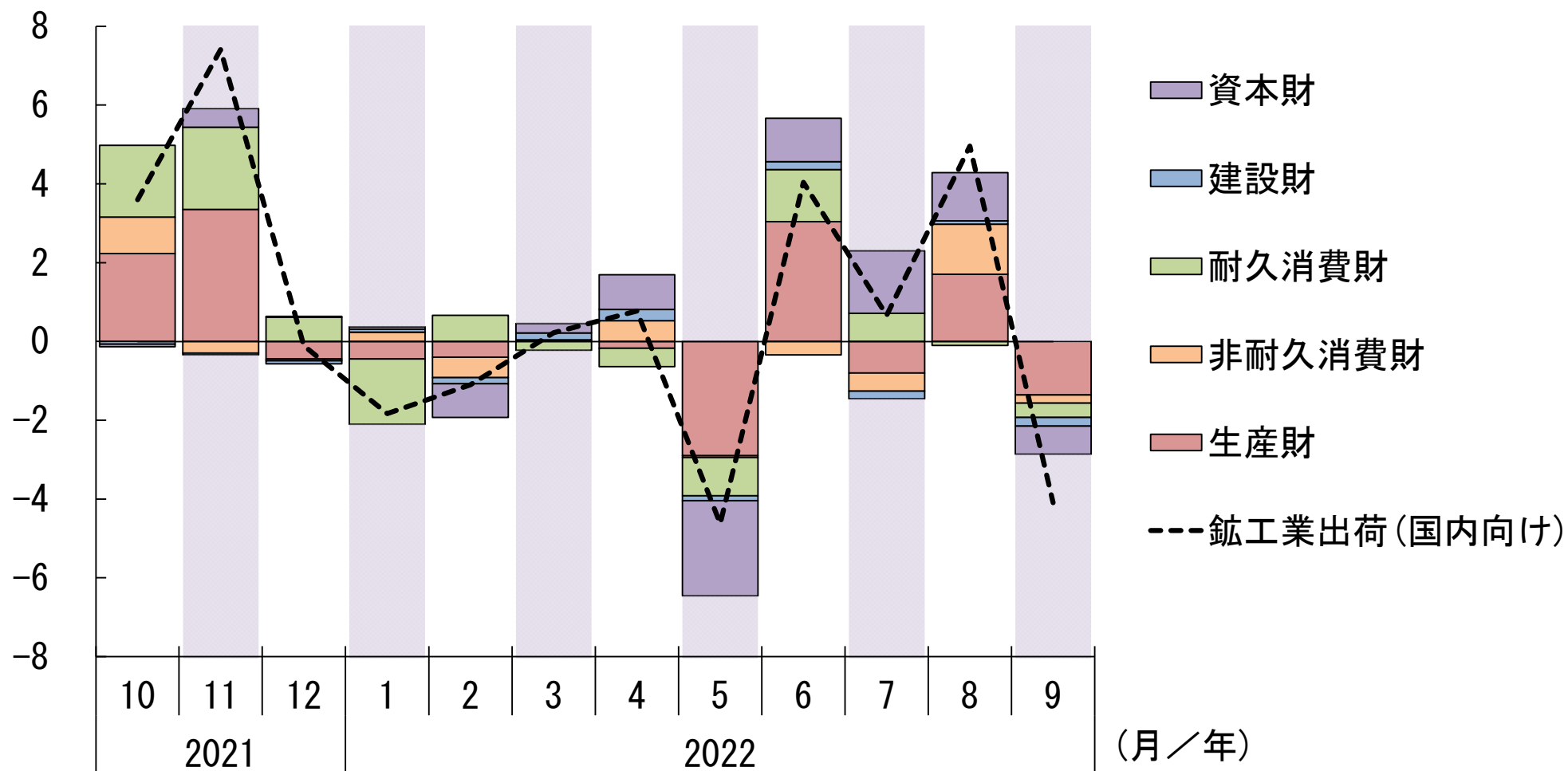
(2015年=100、季節調整済)



国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

・2022年9月の国内向け出荷を財別にみると、生産財などが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



2022年9月の国内向け出荷前月比 財別の影響度合い

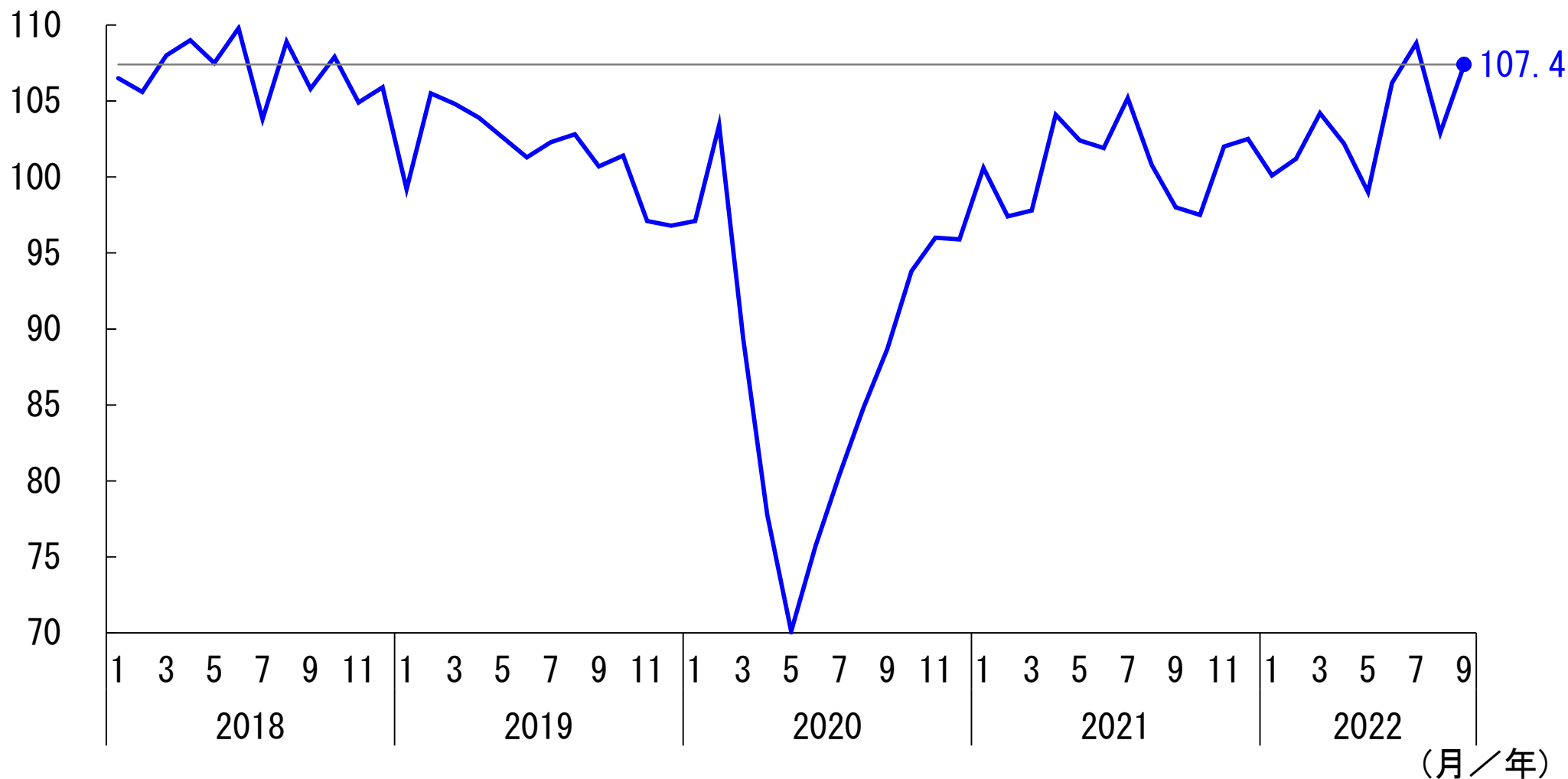
財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	-4.1	—
鉱工業用生産財	-3.2	-1.36
資本財(除. 輸送機械)	-5.5	-0.61
耐久消費財	-4.4	-0.36
その他用生産財	-3.9	-0.31
建設財	-3.5	-0.22
非耐久消費財	-1.0	-0.21

輸出向け出荷指数の動向

・ 2022年9月の輸出向け出荷指数は107.4(前月比4.4%)と2か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

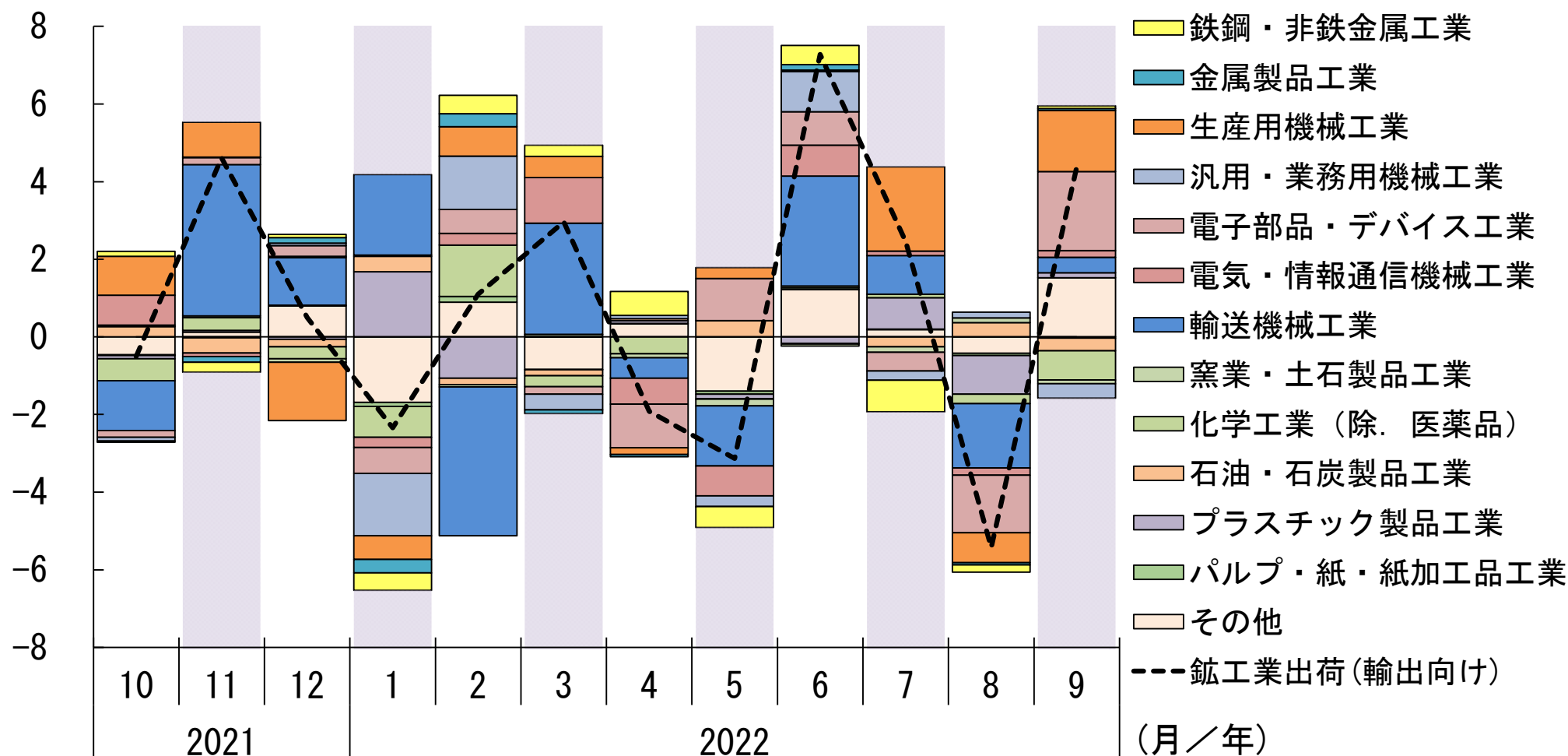
— 輸出向け出荷指数



輸出向け出荷前月比 業種別の影響度合い

・2022年9月の輸出向け出荷を主要業種別にみると、化学工業（除. 医薬品）などが低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇。

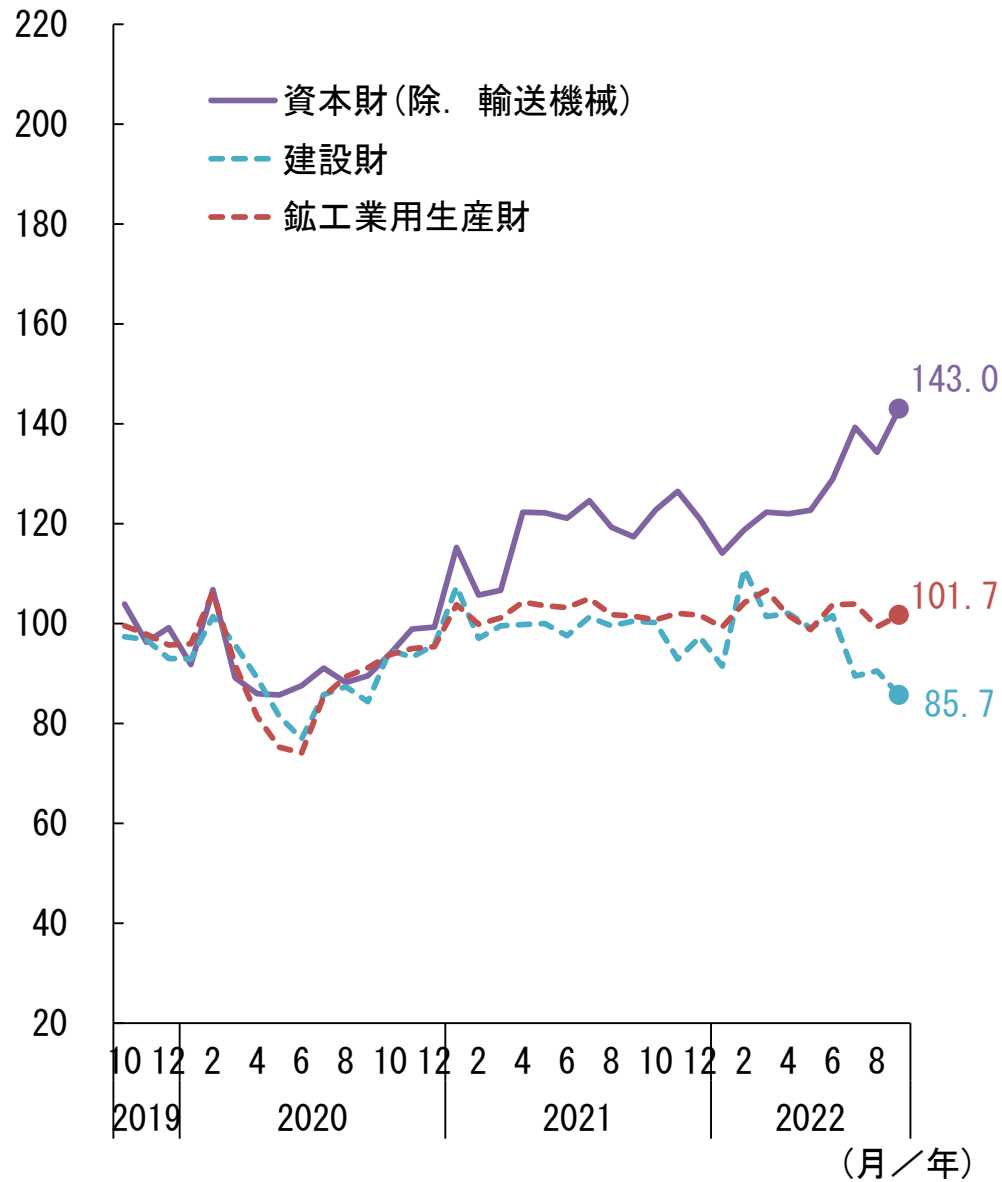
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



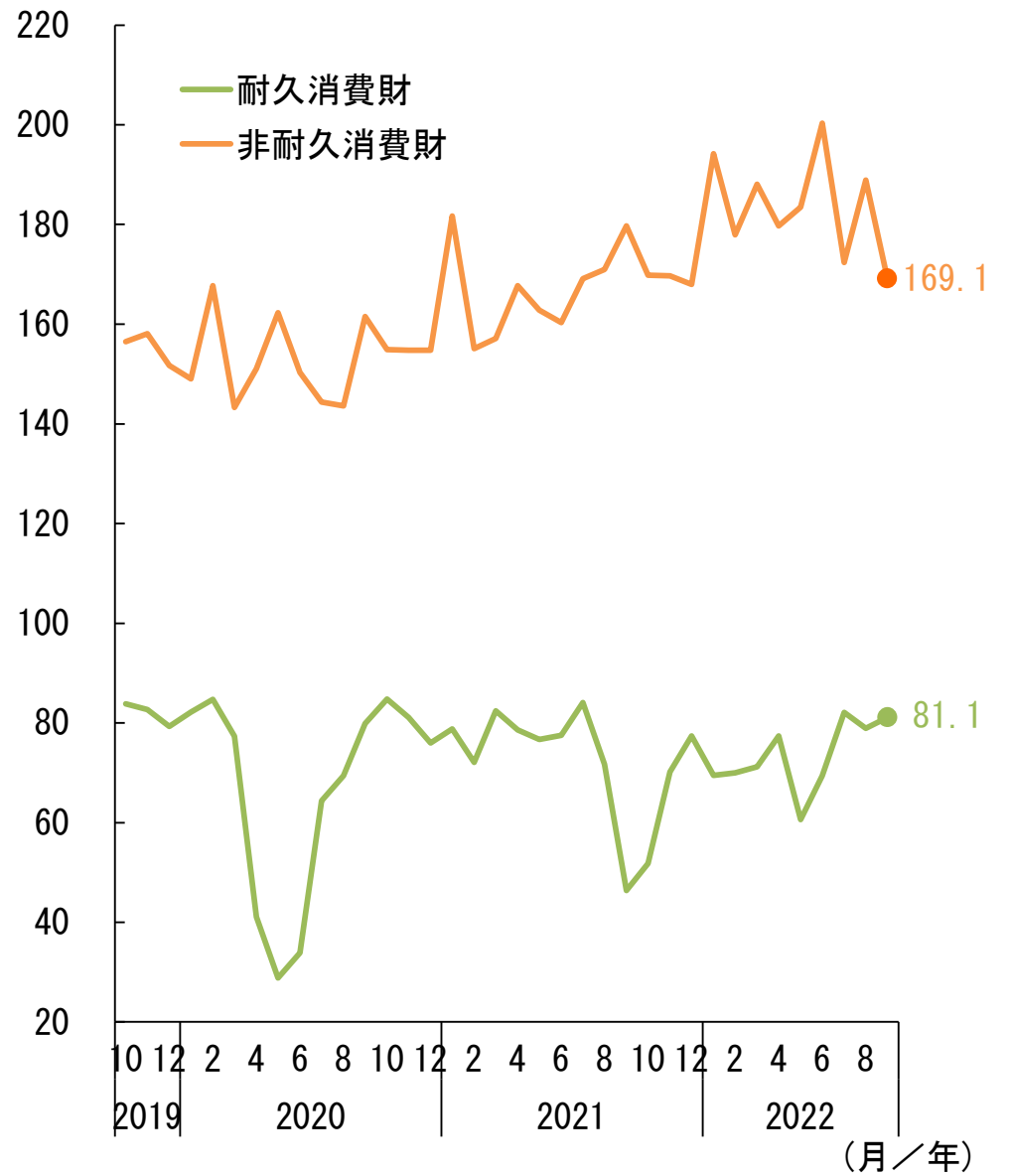
(注) その他とは化学工業のうち、医薬品や食料品・たばこ工業等、上記以外の業種が含まれる

輸出向け財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



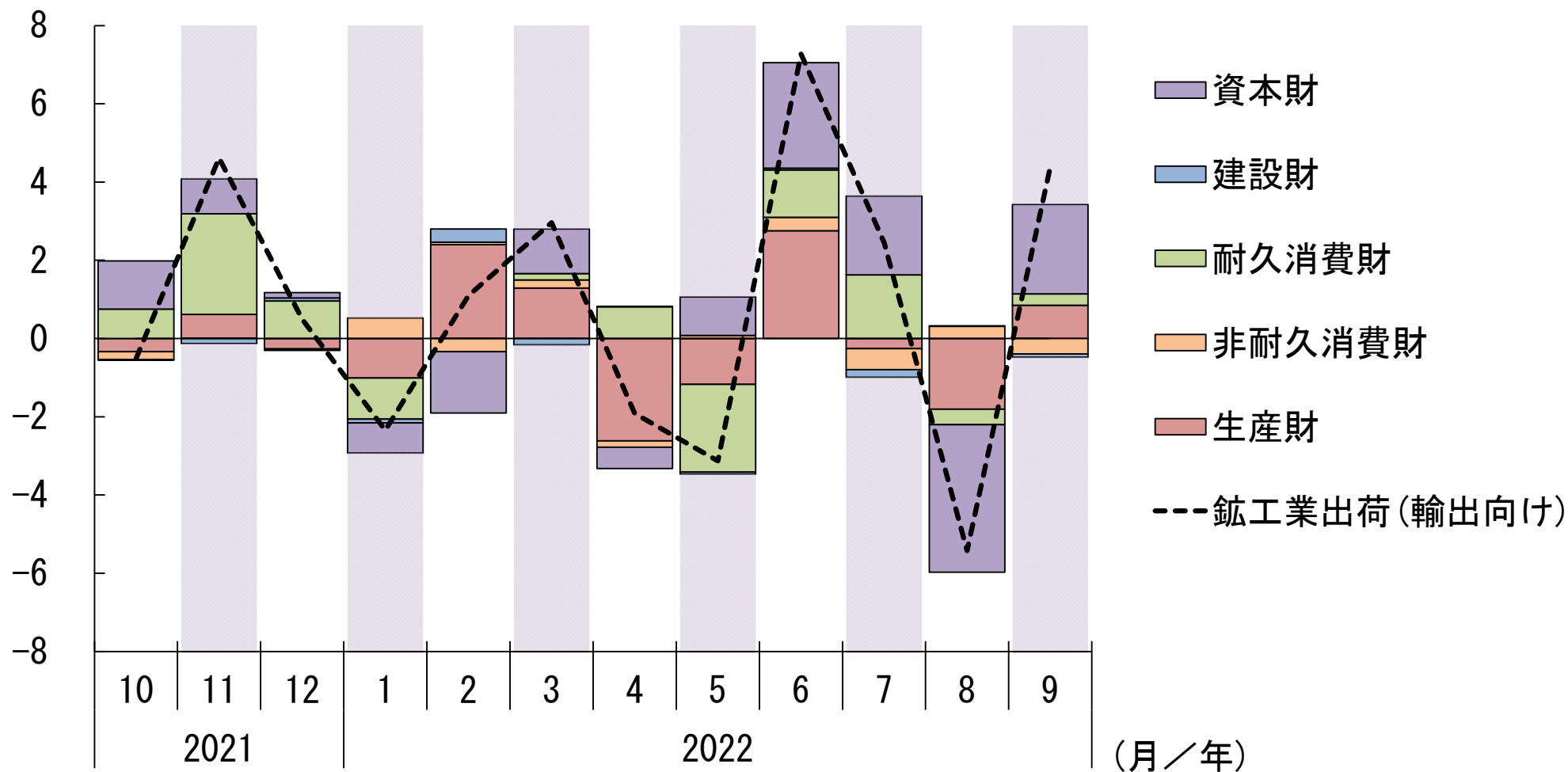
(2015年=100、季節調整済)



輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

・2022年9月の輸出向け出荷を財別にみると、非耐久消費財などが低下したものの、資本財などが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

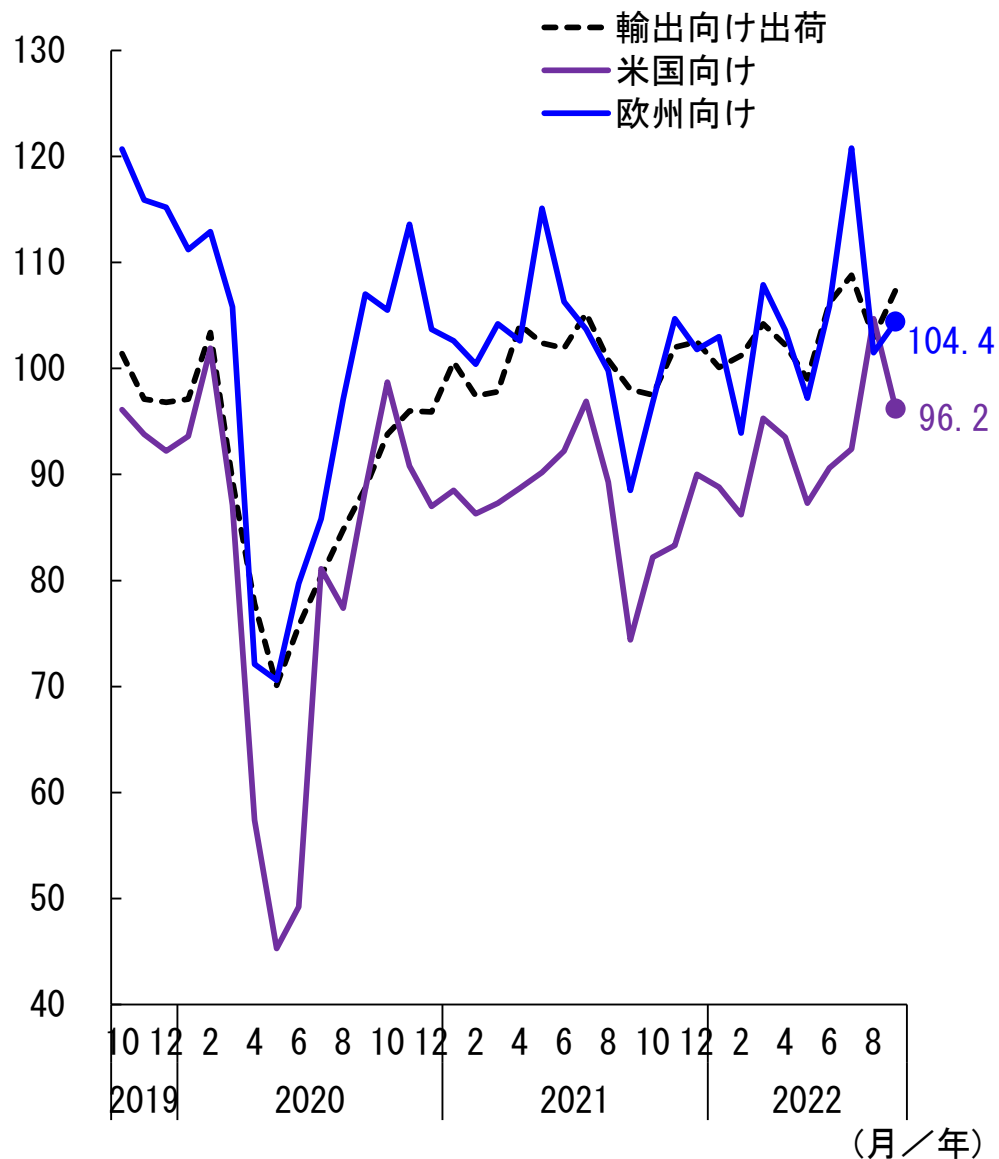


2022年9月の輸出向け出荷前月比 財別の影響度合い

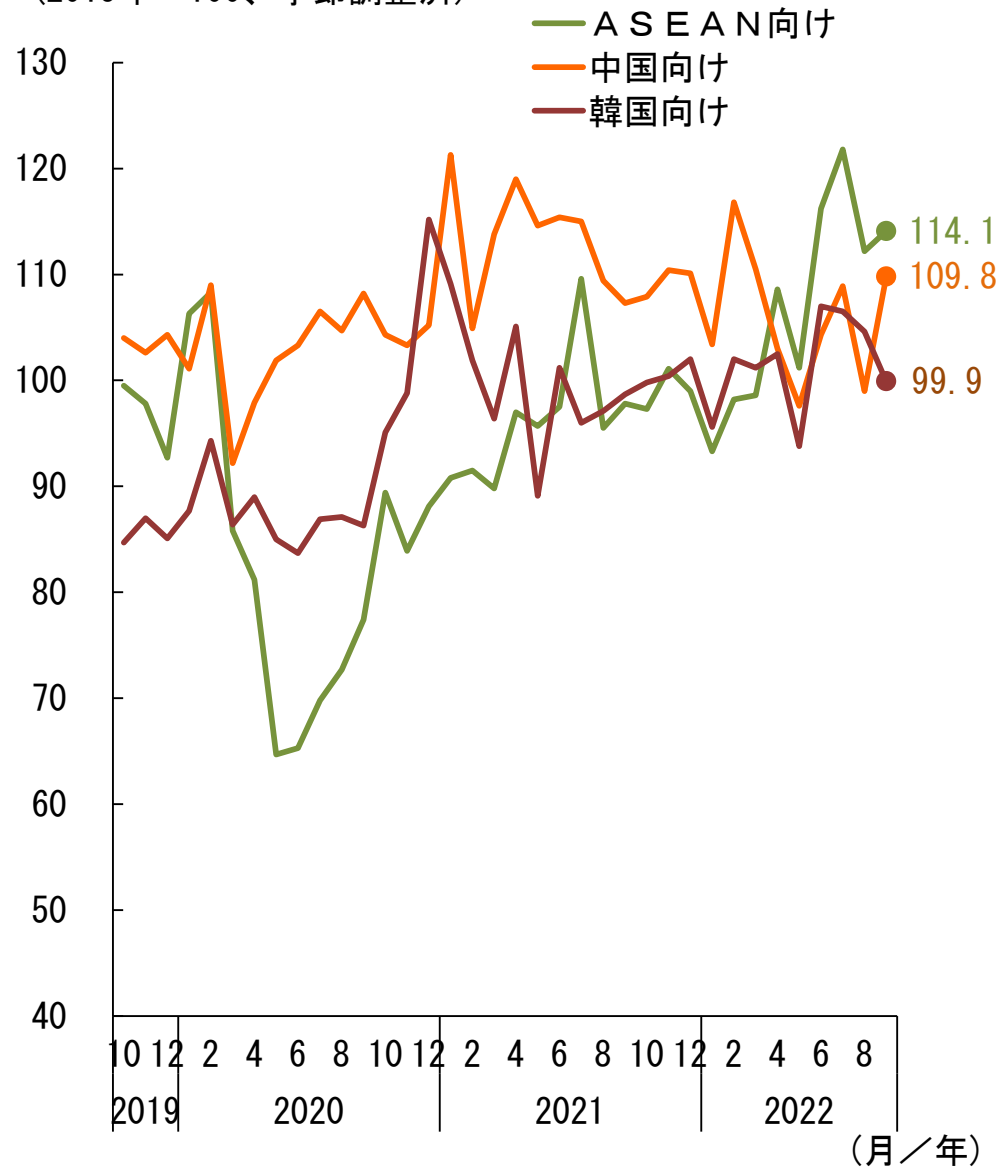
財別分類	前月比(%)	寄与度
鉱工業	4.4	—
資本財(除. 輸送機械)	6.5	1.63
鉱工業用生産財	2.3	1.17
耐久消費財	2.8	0.29
建設財	-5.3	-0.08
その他用生産財	-14.1	-0.34
非耐久消費財	-10.5	-0.39

輸出向け出荷指数（地域別）の動向

(2015年=100、季節調整済)



(2015年=100、季節調整済)

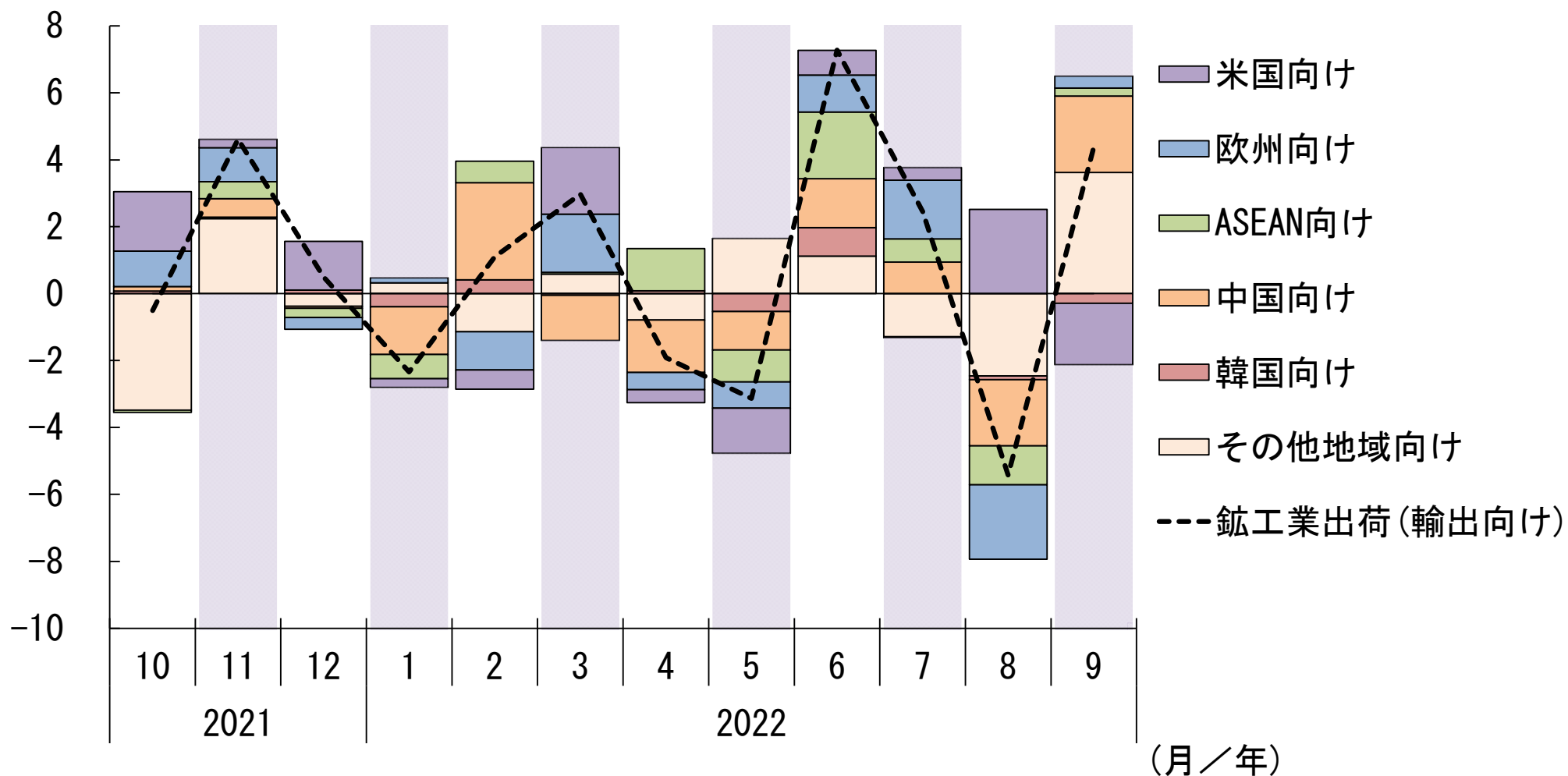


(注) 貿易統計に基づく試算値

輸出向け出荷前月比 地域別の影響度合い

・2022年9月の輸出向け出荷を地域別にみると、米国向けなどが低下したものの、中国向けなどが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 貿易統計に基づく試算値

2022年9月の鉱工業総供給表の状況

総供給・国産品供給・輸入品供給

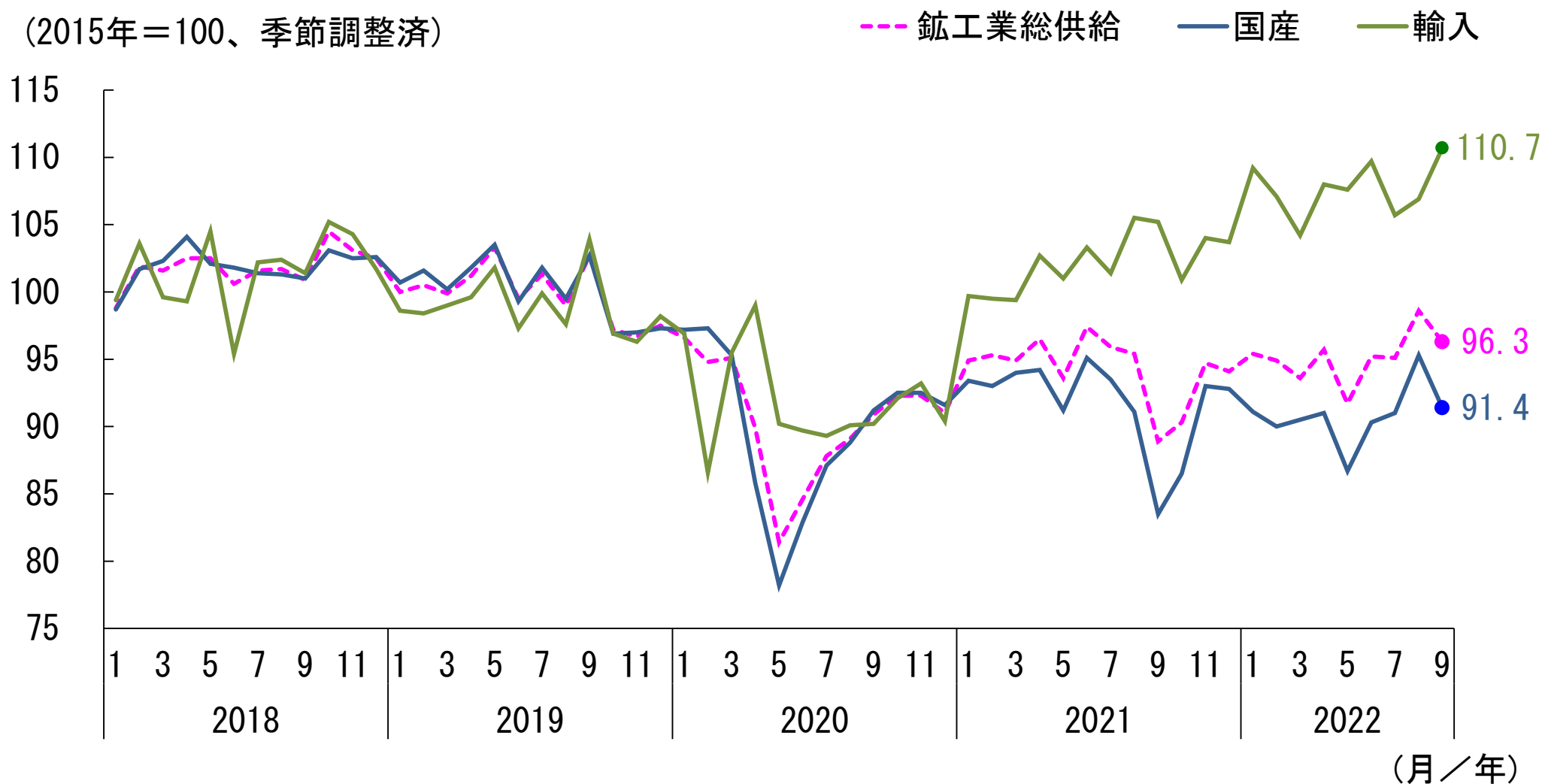
月次	総供給	国産	輸入
季調済指数 前月比	96.3 -2.3%	91.4 -4.1%	110.7 3.6%
指数水準	2022.7 95.1以来 ①2020.5 81.4 ②2020.6 84.6 ③2020.7 87.8	2022.7 91.0以来 ①2020.5 78.2 ②2020.6 82.9 ③2021.9 83.5	2015年基準最高水準 I 2022.9 110.7 II 2014.3 110.2 III 2022.6 109.7
前月比の動き	2か月ぶり- (2022.7以来)	4か月ぶり- (2022.5以来)	2か月連続+ (2022.8~当月)
前月比幅	2022.5 -4.2%以来 ①2020.5 -9.5% ②2014.4 -8.2% ③2021.9 -6.8%	2022.5 -4.7%以来 ①2020.4 -10.0% ②2020.5 -8.9% ③2021.9 -8.3%	2022.4 3.6%以来 (超)2022.1 5.3%以来 I 2020.3, 2021.1 10.3% II 2014.3 9.8% III 2018.7 7.1%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉍工業総供給指数の動向

- ・2022年9月の鉍工業総供給指数は96.3(前月比-2.3%)と2か月ぶりの低下。
- ・内訳をみると、国産は91.4(同-4.1%)と4か月ぶりの低下、輸入は110.7(同3.6%)と2か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)



2022年7-9月期の鉱工業出荷内訳表の状況

出荷・国内向け出荷・輸出向け出荷

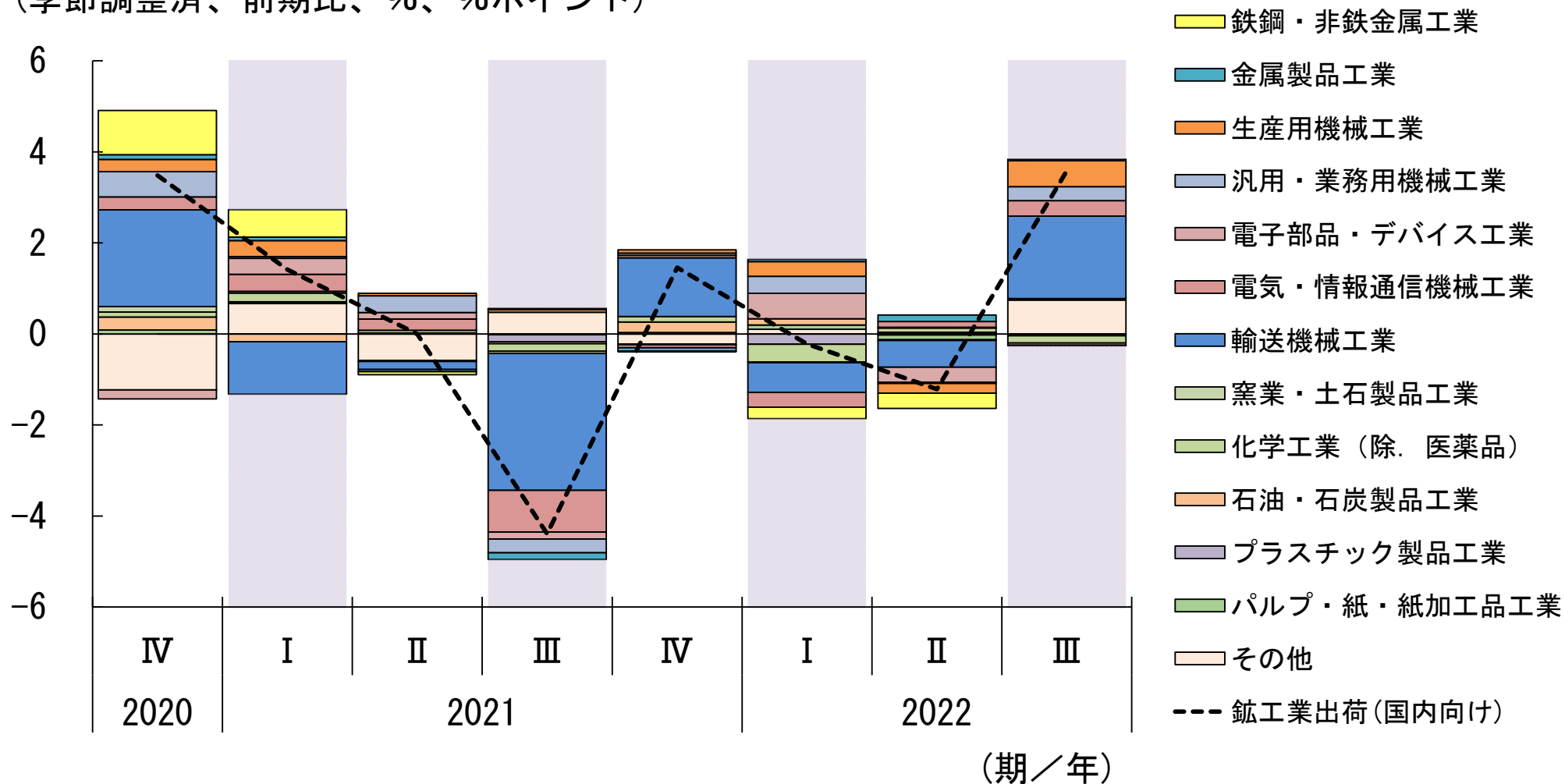
四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数	95.8	106.4	92.5
前期比	4.1%	3.8%	3.6%
指数水準	2020 I 96.8以来 I 2014 I 104.5 II 2018 II 103.6 III 2018 IV 103.4	2018 II 108.8以来 I 2018 II 108.8 II 2017 IV, 2018 I 106.7 III 2022 III 106.4	2021 II 93.4以来 I 2014 I 106.3 II 2013 IV 104.0 III 2018 IV 102.8
前期比の動き	2期ぶり+ (2022 I 以来)	3期連続+ (2022 I ~ 当期)	3期ぶり+ (2021 IV 以来)
前期比幅	2020 IV 5.9%以来 I 2020 III 9.2% II 2020 IV 5.9% III 2022 III 4.1%	2021 II 4.3%以来 I 2020 III 13.6% II 2020 IV 12.5% III 2016 IV 4.9%	2020 III 8.3%以来 I 2020 III 8.3% II 2022 III 3.6% III 2020 IV 3.5%

1) I ~ IIIは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・2022年7-9月期の国内向け出荷を主要業種別にみると、化学工業（除. 医薬品）などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

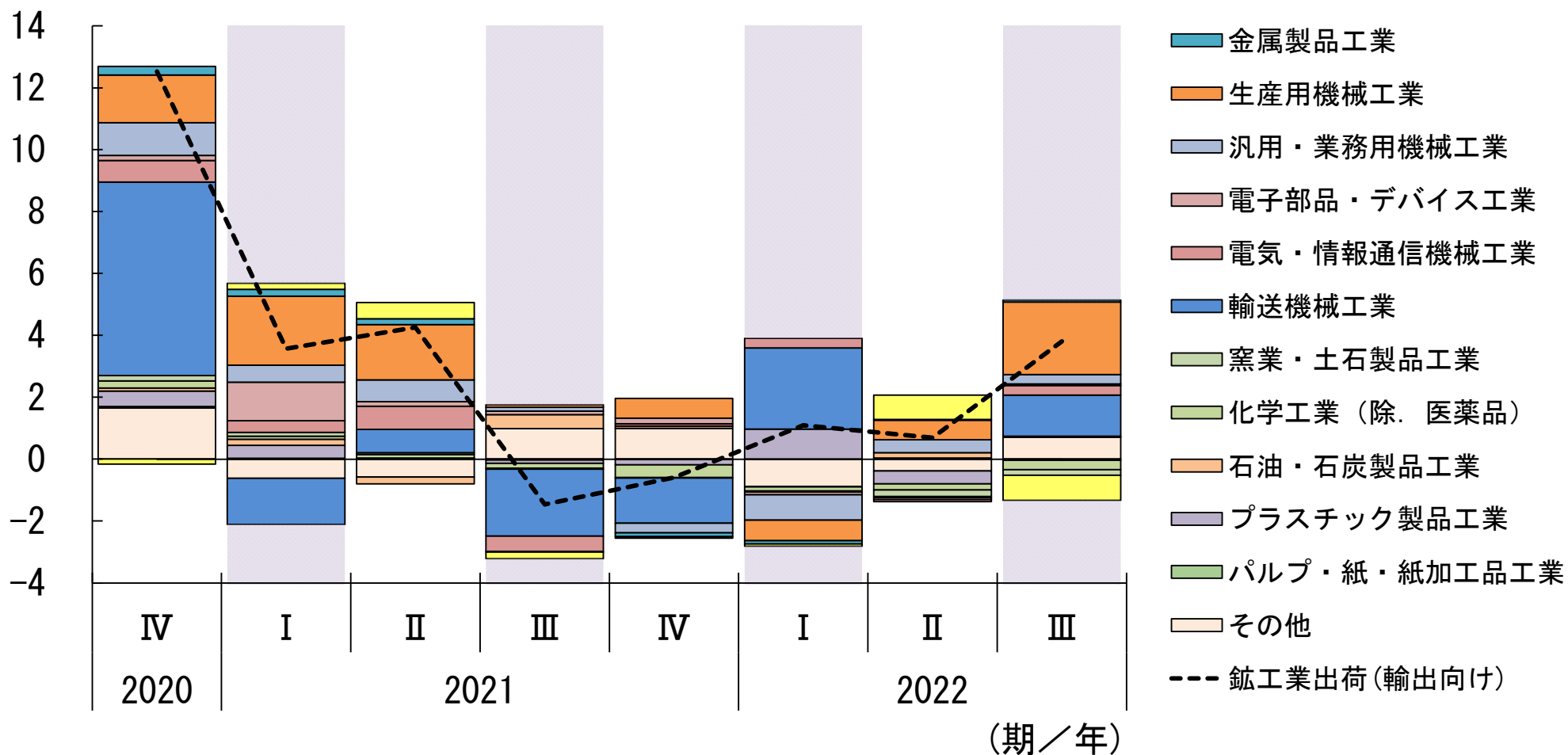


(注) その他とは化学工業のうち、医薬品や食料品・たばこ工業等、上記以外の業種が含まれる

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

・2022年7-9月期の輸出向け出荷を主要業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属工業などが低下したものの、生産用機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注)その他とは化学工業のうち、医薬品や食料品・たばこ工業等、上記以外の業種が含まれる